

Profile

2022年度志太ビジネスブラングランプリで準グランプリを獲得。地域おこし協力隊員として3年間の活動を経て、イラスト制作を得意とするデザイナーとして2021年7月に開業した。丁寧なリサーチをベースに、随所に小ネタを仕込んで描く独特のイラストは、地域やクライアントに対する誠実さや愛情が伝わってくる温かい作品となっている。

自分の好きなことで社会と繋がれている 喜びをかみしめながら、クライアントに寄り添って、 より価値のあるイラストやデザインを提供していきたい

起業までの道のり

20代前半の頃「自分のやりたいこと」と「家のこと」の優先順位で悩み、いろいろなことがうまくいかない時期がありました。そんな経験もあり「自分のやりたいことをしよう」という気持ちがとても強くなりました。悩んでいてもダメだと思いパソコンを習ったりウェブデザインを学んだりしました。広告代理店勤務で少し身に付けたデザイン制作のスキルがあったので、この頃に知識を増やしながらか専門性を高めていきました。10年ほど前にまちづくり会社に入りました。実績はなかったものの周囲の後押しもあって、ここから本格的にデザインの仕事が始まり、ほぼ独学で月1回のイベントのチラシなどを作っていました。イベント主催者との調整など、私にとって好きなことが詰まっていたやりがいのある仕事でした。でもその頃から個人的にデザインの仕事を受注し始めていたため、スケジュール管理が難しくなり悩んだ末にフリーランスになることを決めました。

そんな時に「地域おこし協力隊」という制度があることを知人から教えてもらい応募しました。そして「商店街の活性化」を使命として3年間活動することになりました。長い歴史がある商店街の活性化では、地域の人の気持ちを尊重することが大事だと思い、1年目は状況把握に努めました。2年目になり少しずつ具体的に関わっ

ていこうと思った矢先、新型コロナが流行し始めました。多くのイベントが中止になり、温めていたアイデアを実践することなく任期が終わってしまいました。それでもこの任期中に得たものもありました。地域おこし協力隊として「まちゼミ」をPRするため、自分が体験したプログラムをイラストレポートにして発表したところ、商店街のみなさんがすごく褒めてくれました。「これは世に出さなきゃもったいない」と言われた時に、私の絵は仕事になるかもしれないと思うようになりました。また旧東海道周辺で演劇祭が開かれることになり、そのプログラムガイドの中間に用いられる大きなイラストマップを担当しました。それらの活動でいろいろな人と出会い、個店の人たちとも様々な話をする中で、元気づけられて仕事をする勇気をもらいました。それが起業するにあたり大きな力になりました。

起業で大変だったこと

最近ではチラシ制作などに関連してイラストと一緒に描くことが多く、まち歩きのような仕事も少しずつ入ってきます。まち歩きは協力隊時代に行った活動の一つで、藤枝の方々にいろいろ教えてもらいながらたくさん調査をしました。それが藤枝市のことを深く知る機会となりました。

地域おこし協力隊を卒業して起業する際、補助金の申請のために初めてエフドアに相談に行きました。デザインを仕事にするのは難しいと思っていたけれど、需要の多さを知るにつれ仕事にできるのではないかと考え始めていたので開業届を出しました。当時私は作業場兼住居としてアパートを借りていましたが、女性1人なので情報を公表することに抵抗がありました。そんな時にちょうど駅北の「フジキチ」の内見があり、とても気に入ってそのまま事務所として個室を契約しました。

開業したものの「生活していけるのか」「仕事があるのか」ということは常に不安です。価格設定については今でもずっと悩んでいます。でも逆に儲ければかり



を意識すると、本当に仕事って逃げていくのだなと実感しています。その辺りの向き合い方もまだ難しいです。大きな仕事がどーんと入るわけではないですが、地域おこし協力隊の時の人脈が今の仕事にも活かしています。

起業してよかったこと

起業をすると自分のペースで仕事ができ、好きなことを好きなだけできるところがいいです。組織の中では時に自分のミスで周りに迷惑をかける場合がありますが、私にはそれが耐えられません。起業したら自分の責任、失敗も全て自分が負えるので精神的にとっても楽なのです。また自分の好きなことで社会と繋がれているということに、とてもやりがいを感じています。自分の好きなことで相手が喜んでくれるなんて、こんなに幸せなことはないのです。

また「ふじえだ女性ビジネスアカデミー」を受講したことはとても良かったです。迷っていたことの答えをもらえたような気がしています。それまで全て独学で、相談する相手もなくネットや書籍で必死に勉強しながら仕事をしてきました。また時には無償で働き、きちんとお金をもらうべき仕事だったと後悔することもありました。そういう曖昧にしてきた部分をビジネスの視点で見られるようになりました。ビジネスプランの発表は大変で精神的に追い込まれましたが、あの時には必要なことだったと思います。逃げたい気持ちをこらえてチャレンジして良かったです。

これからの夢や目標

絵を描くことは大好きですが、今の仕事の仕方が最

善なのか、それが本当にやりたいことなのかはまだ分かりません。それは仕事をしながら追求していけたらいいと思います。昨日と同じ自分でいたら仕事が来なくなってしまうので、今の時代に合わせた何かを取り入れたりしてレベルアップしていかなければならないと。奢らずに謙虚に日々精進していきたいです。大学時代には芸術や文化を学問的に学んできたため、実際に「絵を描く」勉強をしてこなかったことが、実は未だにコンプレックスです。そこが原点にあるからこそ、もっと勉強してもっといいデザインを提案できたらいいのにと毎回見直し、反省や分析をしています。でも実際にはどんなにデザインのスキルが高くても、お客さんの求めていることがくみ取れていないといい提案はできません。経験を重ねながら、そういうものをきちんとくみ取れるデザイナーになりたいと強く思うようになりました。そんな中で以前より自分に自信が持てるようになってきたのは、小さな成功の積み重ねがあってのことだと思います。先日の藤枝大祭りに関連したイベントチラシも大きな自信につながりました。今は自分のスタンスが分かってきたので、少しずつ仕事がしやすくなりました。初めはクライアントとの接し方が分からず、いろいろ考えすぎて求められていないことまでやってしまうこともありました。だから多くの仕事をしたいというよりは、少なくともいいから私のことを理解してくれる人と仕事をしていきたいです。商店街の個店と取引させてもらうことも多いのですが、一生懸命働いた大事なお金を私に託してくれていると思うと、それ以上の価値あるものを提供したいと強く思うのです。

エフドアをこれから利用する人に

正直に言うと、初めエフドアはすごく行きづらかったです。もうすでに仕事を始めていたので、例えば融資を受けたいとか補助金がほしいとか、何か明確で大きな相談ごとがないと行ってはいけないというイメージがありました。私は地域おこし協力隊の卒業をきっかけに実際に利用してみましたが、全然イメージと違う雰囲気だったので、小さなことでも気軽に寄っていいのだと分かりました。



toconoe(トコノエ)

住 藤枝市駅前1-8-13 FUJIEDAmikine1階102区画
藤枝駅前コワーキングスペース未来共創ラボ フジキチ内

HP <https://toconoe.myportfolio.com/>

Instagram https://www.instagram.com/toco_fuji/



HP▶



Instagram▶